

モニタリングレポート(平成29年度)

施設名	鈴鹿市武道館				
施設所在地	鈴鹿市江島台二丁目6番1号				
指定管理者名	特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	333日	総利用者数	71,786人	1日当たりの利用者数	216人
開館時間	午前9時から午後9時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
利用料金	6,500,000	7,194,640	694,640		
事業収入	2,052,000	2,033,550	▲ 18,450		
指定管理料	17,105,000	17,105,000	0		
雑収入	40,000	58,380	18,380		
収入計	25,697,000	26,391,570	694,570		
人件費	10,412,000	11,081,498	669,498		
旅費交通費	1,000	500	▲ 500		
通信運搬費	100,000	94,019	▲ 5,981		
受信料	60,000	59,509	▲ 491		
消耗品費	218,000	224,794	6,794		
修繕費	665,000	542,916	▲ 122,084		
印刷製本費	127,000	126,217	▲ 783		
燃料費	7,000	7,100	100		
光熱水費	2,620,000	2,627,017	7,017		
賃借料	834,000	790,590	▲ 43,410		
手数料	0	30,240	30,240		
保険料	434,000	337,000	▲ 97,000		
委託費	3,364,000	3,363,120	▲ 880		
租税公課	1,040,000	1,322,730	282,730		
諸謝金	3,651,000	3,611,000	▲ 40,000		
本部管理費	3,953,000	3,546,188	▲ 406,812		
支出計	27,486,000	27,764,438	278,438		
収支	▲ 1,789,000	▲ 1,372,868	416,132		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	H29年10月から11月にかけて実施。各施設とも満足度は高くなっている。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	利益を求める団体ではないことを考慮すると問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	その他財務諸表等	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、緊急時の危機管理能力等いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
月次報告書の提出及び2ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。また、定例報告会開催前での重要案件や緊急事案等については、適宜報告・調整の場を持つなど、積極的に情報共有を図っていた。			
緊急時の対応評価			○適・不適
大規模災害等の緊急事態は発生しなかったが、マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しており、緊急時への対応準備は整っている。また、台風の接近時は、迅速に施設利用者の安全確保を優先するなど、円滑に対応できている。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、利用者目線での危機管理や自主的に各施設の課題把握に励むなど、課題改善のための様々な方策を提案・実行する意識の高さで、継続して利用者の安全面への配慮や利便性向上に日々努めている。			
施設の課題と対策			
指定管理者の日常的な努力もあり、昨年度を上回る非常に多くの市民が施設を利用している。施設の老朽化については、現在のところ指定管理者の応急的な修繕の実施などで利用者への直接的な影響は最小限に止められているが、根本的な解決になっていないため、計画的に修繕を行っていく必要がある。			
施設の方向性			
施設へのニーズは非常に高く、本市のスポーツ振興を図る上で必要不可欠な施設であるため、今後も施設を維持していく方針である。しかし、施設の老朽化に伴う不具合が生じており、公共施設マネジメントに基づく、計画的な修繕を必要としている。			